



はくざん

校訓 自主 協力 奉仕

白山小学校便り

NO. 5

熊本市立白山小学校

平成30年6月26日

SNSは便利なツールではあるのだが…。 実は、子どもは困っていませんか？

～ 嫌でも、つながらなくてはならないSNSの世界 ～

「最近、うちの子はゲームばかりして、本当に困ってしまう。」

と言っている保護者の方の声を聞くことがあります。しかし、実は本当に困っているのは、子どもたちかもしれません。



今のゲームは、ネットワーク環境で世界のだれとでもつながることができるようになっています。それゆえ、自分の子どもが一人で家の中でゲームに夢中になっているように見えても、実は、わが子の友達がネットの先で、同じゲームをしながら、わが子と対戦しているかもしれないのです。

今、子どもたちは4～5人でチームを作って、ネットの中でゲームをすることがあることをご存知でしょうか。家にいてもネットの中でつながることができるので、集まらなくてもよいのです。便利なように見えますが、こうなると多数の友達が夜9時からゲームを始めようと言い出すと、お風呂に入らなくてはいけないと思っても、寝たいと思っても、家族と話をしたと思っても、宿題をしないといけないと思っても、付き合わないわけにはいかないのです。

市内の生徒指導の先生方が集まる会では、遠く離れた見ず知らずのチームと対戦をして負けてしまったために、メンバーの中で技量が上がらない子どもを責めたり、一緒にそのゲームの中で遊びたい友達が技量が劣るといって、ゲームの中に招待しなかったりするなどのトラブルが起こっているとの報告がありました。

男子はゲームに縛られることが多いようですが、女子の場合はラインなどのコミュニケーションツールに縛られてしまうことがあります。たとえば、「既読スルー」という有名な言葉があるのは、ご存知のとおりです。とにかくだれかが話を投げかけたときは、そのレスポンスの速さが大事とされているようで、常にスマホから目が離せなくなるという状態になるそうです。そして、それが時間の際限なく深夜まで続くこともあると子どもたちから聞きました。また、グループを作るときにそのグループに誰を招待するのかで、トラブルになったことがあるとも聞きました。

学校では、道徳や総合的な学習の時間の授業等でSNSについても取り上げ、子どもたちにその使い方等について指導をしているところです。

しかし、最近SNSをめぐるトラブルが白山小学校の中でも出ています。スマートフォン、通信ができるゲーム機を持たせるということは、子どもたちがそのトラブルに巻き込まれる可能性があるということを保護者の方は、ぜひご認識いただきたいと思います。

スマートフォン、通信型のゲーム機の操作は学校ではなく、家庭で行われることがほとんどです。今、大きなトラブルにはなっていないものの、通信型のゲーム機を使うことやスマートフォンを使うことで困っている子どもたちは多くいると思います。

ぜひ、SNSの利用については、家庭でルールを定めてそのルールが守れているか、保護者の方は必ずチェックしていただきたいと切に願います。

